

おもちゃ作りのせつ明書を書こう。

めあて

せつめいの くふうを つかって、一年生に
分かりやすい「作り方」を書こう。

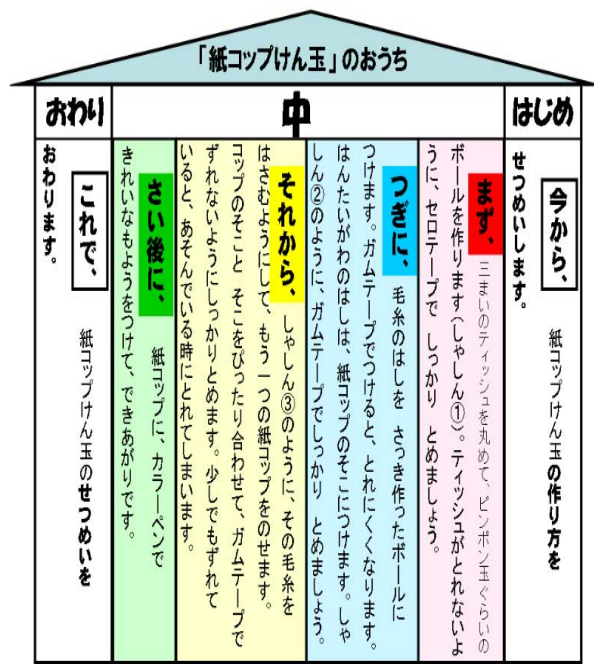
じゅんじよことば

大ききことば

数ことば

ばしよことば

気をつけること



はじめ

何の作り方をせつめいするのか、みじかく書く。

中

だんらくのはじめに、じゅんじよことばをつかう。

数ことば や しやしんことばをつかう。

作るときに **気をつけること(アドバイス文)** を書く。

おわり

せつめいを おわることを書く。

【6・7 / 9時間目 指導略案】

本時のねらい ※ここに示す略案は2時間計画です。各学級で弾力的に取り扱ってください

- ①説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことができるようにする。
- ②事柄の順序にそって、つながりのある文章を書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- これまで学習してきたことを生かし、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことを知らせる。

2 「作り方」を書く。

- 前時の学習で学んだ表現が分かるスライドを電子黒板に提示します。
- 説明の工夫を使って、「はじめ」(中)「おわり」を書かせる。
- 以下の言葉を使って書かせる。

順序を表す言葉 (まず、次に、それから、最後に など)
 数字を表す言葉 (3cm、2本、3個 など)
 場所を表す言葉 (上、下、真ん中、はし など)
 大きさを表す言葉 (小指ぐらいの、「ハ」の字のように など)
 気を付けること (くしないように、くましよう、気を付けましよう、注意しましよう など)

- ※ 説明の工夫を生かして書いている児童の短冊を電子黒板に提示することで、表現の良さに気付かせます。
- ※ 書き進んでいない児童には、実物を見せたり、グループの友達の文章を参考にさせます。

評価 説明の工夫を使って、「なるほどせつめいカード」を意欲的に書こうとしている。(関)

3 出来上がった短冊を読み返す。

- 「読むこと」で学習した説明の工夫を観点として示し、書いた文章を読み返させ、付け加えた方がよい点や違う書き方をした方がよい点を見付けさせる。
- 誤字脱字や改善するべき部分を見付けた場合は、書き直しをさせる。
- ※ 出来上がった児童の短冊を電子黒板に提示し、作品の全体としてのまとまりやつながりがあるかに目を向けさせます。

評価 ①説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。(書イ)

②事柄の順序にそって、つながりのある文章を書いている。(書ウ)

4 チェックカードに振り返りをする。

- 説明の工夫を使って書くことができたかを振り返らせ、チェックカードに自己評価させる。

5 次時の学習について見直しをもつ。

- 次時は、出来た作品を読み合い、説明の工夫を使って書いているか友達と交流することを知らせる。